

## くじの方法について（郵便入札）【事前審査型】

郵便入札において、落札者となるべき同価格の入札した者が2人以上ある場合は、次の方法によりくじで落札者を決定する。

## 1 入札書の「くじ番号」欄に任意の数字を記入

入札書の「くじ番号」欄にあらかじめ任意の数字（5桁）を記入する。

なお、記入のない場合などは、1者の場合は「99999」の数字を割り当て、複数の場合は、五十音順で「99999、99998、・・・」と順に割り当てる。なお他者がすでに設定している数字がある場合は、その次の数字を割り当てる。

## 2 くじの手順

- (1) 書留お問い合わせ番号（11桁）の下4桁の小さいものから順に「抽選番号」（0, 1, 2, 3, …）を付与する。

書留お問い合わせ番号（書留引受番号）は郵便追跡用に使用する番号で、  
**\*\*\*（3桁）-\*\*（2桁）-\*\*\*\*\*（5桁）-＊（1桁） 合計11桁で表示された番号**

- (2) 同額入札の入札書に記載された任意の「くじ番号」を合計し、その合計を同額入札者の数で除算し、余りを算出する。  
(3) 上記（2）の計算結果による余りと一致した上記（1）の「抽選番号」の入札参加者を落札者とする。

## 【例】入札参加者3者が同額入札の場合

- ① 書留お問い合わせ番号（11桁）の下4桁の小さいものから順に「抽選番号」（0, 1, 2, …）を付与する。

※ 下4桁が同一の数字になった場合は、下5桁目以降高い桁の数字を順次参照する。

業者名	任意のくじ番号	お問い合わせ番号	抽選番号
A社	00123	***-**-**123-4	0
B社	02178	***-**-**235-3	1
C社	34919	***-**-**438-1	2

- ② くじ番号の和を求め、同額入札者数で除算し、余りを算出する。

$$123(A社) + 2178(B社) + 34919(C社) = 37,220$$

$$37,220 \div 3(者) \dots \text{余り } 2$$

抽選番号と余り2と一致したC社を落札者と決定する。